

# 広報かわにし

発行所	川西町役場
発行者	川西町 中村壮吉
編集人	金子幸作
印刷所	白南風社
定価	1部5円
人口	の動き
(7月1日現在)	
男	7,362人
女	7,560人
計	14,922人
世帯数	2,764世帯

## 部 落 に 指 導 者 を 養 成

### 県がモデル地区に指定

合併してから四年、いま町づくりの途上にあるわが町が、県から本年度の新生活運動モデル地区に指定された。

県新生活運動協会(会長・北村一男氏)では、まいとし中央(国の新生活運動協会)の委託事業として、県下の二十九町村を新生活運動のモデル地区に指定し、これまで指定町村の指導育成につとめてきた。ことしも、「県」の呼びかけで、新生活運動をりっぱに推進できる町であることを条件にモデル町村を選定したが、わが川西町もその中に数えられ、こんどの指定を受けることになったもの。

町に社会教育が進展して、いたるところ話し合い学習が展開され、公営結婚の実現や明るい村づくりなど、仲間づくりをねらいとしてたくさんの方々が生まれかけてはいるものの、反面あれほどはなばなしかった新生活運動が、すっかり忘れられたのではないかと心配するむきも多い。

町ではこれを機会に、公民館が

合併してから四年、いま町づくりの途上にあるわが町が、県から本年度の新生活運動モデル地区に指定された。

県新生活運動協会(会長・北村一男氏)では、まいとし中央(国の新生活運動協会)の委託事業として、県下の二十九町村を新生活運動のモデル地区に指定し、これまで指定町村の指導育成につとめてきた。ことしも、「県」の呼びかけで、新生活運動をりっぱに推進できる町であることを条件にモデル町村を選定したが、わが川西町もその中に数えられ、こんどの指定を受けることになったもの。

町に社会教育が進展して、いたるところ話し合い学習が展開され、公営結婚の実現や明るい村づくりなど、仲間づくりをねらいとしてたくさんの方々が生まれかけてはいるものの、反面あれほどはなばなしかった新生活運動が、すっかり忘れられたのではないかと心配するむきも多い。

町ではこれを機会に、公民館が

## 社 教 委 員 き ま る

### 町公民館長は富永氏

六月の定例教育委員会(十日)で、二十名の社会教育委員(公民館運営審議会の委員を兼ねる)と四人の公民館長が決まった。

任期満了により欠員となった各委員・館長の後任として、町内の

各学校の長 ②社会教育団体の代表者 ③学識経験者、のうちから町の教育長が適任者を選び、川

この先二年の任期を、町の社会教育に参画して諸計画を立案するほが、公民館事業の審議運営をになつてゆくことになる。委員ならびに館長の顔ぶれは次のとおり。

### 社会教育委員

- 公民館運営審議会委員
- ①学識経験者 ②中村壮吉(木島町)
  - ③田中三郎(山野田) ④太田長策(中央町)
  - ⑤酒井信四郎(中央町)

公民館長

- ①中央公民館長兼千手地区公民館長・富永 勇(千手小学校)
- ②仙田地区公民館長・登坂精一(仙田中学校)
- ③橋地区公民館長・杵渕新治郎(橋中学校)
- ④上野地区公民館長・樋口音七(上野中学校)



こ こ て も 町 づ く り

木島町から高原田までの路上は、いま道づくりに大わらわだ。この間150メートルの道路が、月末までにはりっぱに舗装されるのである。

これは県の事業で、150万円の予算が見込まれているが、このうち町で3割、沿道の各戸が2割を負担して行なうものだ。これまでの舗装は粗粒式だったが、こんどのはその上にワービット(モルタルみたいなもの)をかけるので、都会のようにツヤのあるきれいな道路になるという。

来年はこの先150メートル(伊友の入口まで)の工事が予定されているし、上野や橋でも要望がよいというから、ゆくゆくは町の大半が舗装した道路になるだろう。ともあれこの工事が終わると、町の中心街1700メートルが舗装されたことになる。

写真は舗装ま近い道路・木島町にて・押木秀治撮影

## 町 づ く り

広報かわにしが生まれてから、はやくも一年の歳月がながれた。「町だよりがほしい」という声があつてきよねんは一月おきに、それが新年度から毎月一回発行に替わって、ともかくも第九号を重ねることができたのである。

こしかた一年のあしあとをふりかえるとき、全くもって感慨無量といわざるを得ない。

▲七月から町広報を発行する。町の姿をよくお知らせして、みなさんの声に耳をかたむけてゆきたい。企画や構想は一任するが、だれからも親しまれるものとしてくれるように……ちよと一年前

中村町長からいわれたあのことばが、ついきのうのように思われてくる。

▲スプのしろうとがはたしてやってゆけるだろうか、という自信のなさ、見えない人たちに話しかけることの恐怖、その責任の重大さに、ねむられぬ夜を過ごしたこともあつた。メクラがへびにおじないのたえ、とにかく引き受けてやっけてきたのだが、みなさんほどのように受け入れてくれただろうか。いま、「かわにしの綴り」をひもときながら、一字一句に汗はむものを感じている。

▲よき町民とは——家族を満足に扶養し、規則正しく税金を納め、忠実に投票し、カンゴクの世話にならず、「町のため社会のために貢献しよう」という念願を、行動によって示すものという

ある日の新潟日報社で、松井敬氏(主筆)から伺った話である。

▲町の姿をよく知って、正しい判断によって行動することは、よき町民となるために欠くことのできない要件なのである。知らせて、考えて、話し合つて行動することが民主政治の基本線であるなら、これをなすのが本紙の役割であるといえる。その意味で、正しいものをお伝えする広報紙でありたいと思つてゐる。

▲はげしいマスコミのうすの中で本紙もまた、町あるかきり生み出されてゆくだろう。それはわが町の歴史を形づくることにもなるのである。数えてつきないはげましのことに、心からなる御礼を申しあげ、これからはいっそうの御支援をお願いしてやまない。

町議会報告

町政説明会の開催など

全員協議会で検討

四月以来各種選挙に引き続き、農繁期に入ったため、長い間開かれなかつた町議会は、去る六月二十二日約三カ月ぶりで第三回定例会が招集された。

提出された案件は、専決処分、報告、農業センター管理條例の制定とこれに基づく運営委員の選任、町税減免、條例の一部改正五件等のほか、請願の新規受理四件、継続審査中のもの六件であった。このうち議案九件についてはいずれも原案どおり可決または承認された。

青年婦人代表が半数 農業センター運営委員さまる

可決された川西町農業センター管理條例は、昨年来議案となつていたので、今回ようやく成案を得て上程されたものであるが、その内容は農業センターの管理運営使用基準、職員任免等六カ条からなっており、今後農業センターの運営はこの條例に基づいて行なわれる。

農業センター運営委員

町長はこの條例の規定により、議会の同意を得て十五人以上の運営委員を委嘱し、農業センターの運営について諮問することとなっているが、今回最初の運営委員として次の十五氏が選任された。選任に当たって、特に、進歩的で実行力に富む青年、婦人の代表を多くしたいという当局の要望

を了として、議会としてはこれを全面的に承認したものである。

新しい戸籍法から

わが国の戸籍制度が、現在のようにならざるを得ないならば、これまでに幾多の変遷を経してきました。これには戸籍制度に対する国民の、深い理解と協力があつたことも見のすことができません。

父母との続柄の定めかた

現在の戸籍制度は、人の身分関係を登録公証することが、第一義務的な使命であるといえます。従つてすべての身分上、財産上の権利義務の關係は、戸籍によつて立証されることとなります。

その他の議件

専決処分報告は、三十三年度予

算のうち、失業対策費について国庫補助金が減額されたので、これに伴つて才入才出を専決更正したもの。

町税減免は町條例に基づいて、新たに生活保護を受けるようになった八名に市町村民税を、また災害、病氣等の七名に固定資産税を減免した。

条例の改正は、診療所關係四件ほか一件でいずれも法律の改正に伴う字句の整理程度の改正である。

新しい戸籍法から 父母との続柄の定めかた

わが国の戸籍制度が、現在のようにならざるを得ないならば、これまでに幾多の変遷を経してきました。これには戸籍制度に対する国民の、深い理解と協力があつたことも見のすことができません。

現在の戸籍制度は、人の身分関係を登録公証することが、第一義務的な使命であるといえます。従つてすべての身分上、財産上の権利義務の關係は、戸籍によつて立証されることとなります。

旧戸籍法では家に属する親族共同体をもつて、一つの戸籍を編成(戸主を中心)していましたが、新戸籍法(昭和二十三年一月一日以降)では家の制度が廃止されて新たに夫婦と氏を同じくする子とで編成することになりました。

従つて三代戸籍、すなわち一つの戸籍に孫などが在籍することはできません。

正当な婚姻によつて生まれた子を嫡出子といひ、父の知れない子または父に認知されている子を嫡出でない子(私生児や庶子)といひます。

続柄は、父母たる夫婦を基準として数えます。すなわち「長男、長女」「二男、二女」と記載して数えかたは出生の順に従います。

父または母のいずれかを同じくする子は、その算定には入りませんが、すなわち先妻の子と後妻の子は別々に「長男」「長女」と定められることとなります。

中心とし、父を尊重した旧法時代とはまったく違つたもので、家の制度の廃止と男女平等の趣旨からいっても、やむを得ないこととしてしょう。また嫡出でない子は、「男」または「女」と記載されます。

一口でみんなを保障 家族保険のお勧め

郵政省では六月一日から、全国郵便局を通じて「家族保険」の発売を始めました。

この「家族保険」は、簡単な手続きと、もっとも安い掛金で、ご家族こそつて保険の利益をうけることができるようにと、日本で初めてつくられた生命保険です。

したがっていままでの保険に比べると、全くその内容が違つています。主な特長をあげてみます。

●一口の契約で、家族全員(夫婦と子)を保障します。

●掛金は家族数に関係なく、申し込むときの契約者の年齢だけで決まりますので、家族の多い家庭は

な旧法によつて記載してあるものは、關係者の申し出や町長の職権で、身分事項欄にその事由を記載して、訂正することになります。

この場合すでに死亡した人や、婚姻、養子縁組などで、他に入籍された人も訂正することになります。(戸籍係)

戸籍の窓から 六月分

うぶ声 御すこやかに 藤巻 透(重二長男) 塩辛 鈴木恵子(春蔵二女) 中島町 星名礼子(富一長女) 伊友 田中直樹(米三郎長男) 小白倉 柄沢敏幸(悌二男) 沖立 高橋久美子(銀一長女) 上町 中村由美子(健一三女) 坪山 野沢サユミ(惣一郎三女) 仁田 羽鳥茂継(徳一長男)

鼻天 御めい福を祈る 平野正吉(五八) 中島町 野沢ヨネ(二六) 仁田 春日万太郎(八〇) 神社町 田中ミヤ(八〇) 小白倉 和久井仁吉(六五) 木落 小海ノイ(三四) 小根岸 田口常喜(五五) 木落 田中富吉(六〇) 仁田 須藤トセ(七五) 下原 増田キヨノ(六二) 室島 佐藤正二(二二) 藤沢 小林フヨ(七三) 中仙田

ことしは赤痢の当たり年 ことしは赤痢の当たり年だといわれています。町でもすでに七名の患者が出て、うち一名が死亡しました。頭痛、発熱、下痢の症状はいちおう赤痢と考へて、さっそく医師の診断を受けてください。(国保衛生係)

今夏初の水難事故! 今夏初の水難事故!

今夏初の水難事故!

今夏初の水難事故!

今夏初の水難事故!

今夏初の水難事故!

今夏初の水難事故!

# 先輩の招きで南米へ 金子君(岩瀬)近く渡航

川西町から初のブラジル移民を送ることとなった。しかも、それは本紙の編集長金子幸作氏の実弟に当たる仙田地区岩瀬の金子国栄君(一八)である。南米移民については昭和三十一年五月、旧橋村根深から丸山静男さん(四三)一家五人がブラジルへ移住した例があるが、合併後は今回の金子君が第一号で、年令的にも前途に富んだ同君の渡航は、とかく移民についての後進地域といわれている当地方の青少年に対して、海外発展への意欲を促進するものとして関係者から大きな期待を寄せられている。



金子君

## 彼地へ骨を 埋める覚悟

金子君は父権三郎さん(五八)の五男で、今春加茂農林高校を卒業し、事実上は家をつぐこととなっていたものである。それが移民に踏み切ったのは、母校加茂農出身の先輩で、加茂市からブラジルに移住し、現地で大きなコーヒー園を経営している原沢和夫氏の招きによるもの。

加茂農出身者で南米に移住した者はたくさんあるが、相当の成功者となっている者も多く、原沢氏もその一人である。多数の現地人を使用している関係上幹部要員として、信頼できる、日本人として

は、ずかしくない後輩を招きたいという希望を母校へ寄せたことが動機で、金子君に白羽の矢が立ったものである。

行く先はサンパウロ市の西南二百三十キロの地点にあるレジストロという町で、原沢氏の知己である日本人二世の経営する大きな製茶工場へ迎えられる。当分の間はこの製茶工場で家族的待遇を与えられながら、紅茶製造の技術面に従事するが、将来は独立できることになっている。

渡航予定は八月下旬で、今春卒業した同級生三人とともに出発する。ブラジルといえば日本から見ても、地球の反対側に当たり船で約四十日かかる。もちろん南半球だから四季も日本とは全くあべこべで、金子君の行くレジストロ町付近は、最も暑いのが一、二月で摂氏三十度ぐらゐ。最も寒いのが七、八月で、本県の十月下旬くらいの気候だということである。金子君はブラジルに骨を埋める覚悟を固めており、目下一家をあげて渡航の準備を進めている。なお

こんな悲しい記事を書かせないでください。これからがいちばん危いときです

## 他民族に 負けない努力を

金子君は渡航の決意を次のように語っていた。

「ブラジル移民史をひもといてみると、先覚者の並々ならぬ苦勞が忍ばれ、わたくしが今日こうして移民できることは全く申しわけない気がいたします。日本では想像もつかないような未知の苦勞があることは、重々覚悟しておりますが、常に先輩の苦勞を肝に銘じて、じつくり構えてゆくつもりです。

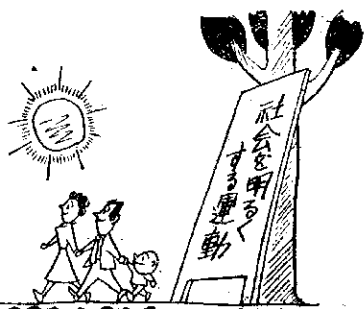
イタリヤ、スペイン、ポルトガルなどの民族に負けないように、日本人の体面を保って仲よくやつてゆきたいと思えます。マスコミ

## 社会を 明るくしよう

保護司のねがい

いま「社会を明るくする運動」が実施されている。この運動を主唱したからといって、それだけですぐに良い社会はできないかもしれない。しかしこの叫びが、町民ひとりひとりの胸の中にしつかりいだけ、みんなの理解と協力

では、ブラジルのよい面ばかりが強調されているくらいがあります。が、わたくしは必ずしもそうは思っておりません。現地をよく観察して、機会があったら「広報かわにし」を通じて、正しいブラジルの姿をお伝えしたいと思っております。なお、これが一つのきっかけとなつて、わたくしのおとに続く青少年が統出することを期待しております。」(丸山記)



☆モグラ横丁(社会を明るくする運動) (七月一日〜三十一日)

「またいやな運動が始まったんだ……」



を深めて、全国的な運動にまでもりあがる礎石となることに、大きな意義がある。世の中から犯罪がなくなつたら、この社会がどんなにか明るくなるだろう。

昔から、病氣と貧乏と犯罪が、社会の三大不幸だといわれているが、そのうちで犯罪は最も大きな不幸だといえるだろう。つまりそれは直接の被害者だけでなく、社会生活に基本的な「協同」の力を破壊し、平和をおびやかすから務所に入れても、そのほとんどは罪者が真に更生し、二度とあやまちがなく、社会に適応した明るい生活が送れるように努めることがひいては世の中の犯罪を少なくしていくことになるのである。

犯罪者が更生の意欲にもえて社会に帰ってきたとしても社会があたたく迎えてやるのがなかったら、かれの前途はどうなるだろう。それが少年の場合とはくに影響が大きいのである。そこで社会に復帰した犯罪者の更生を導き、犯罪予防の啓発のために更生保護に当たるのが保護司である。

保護司は、社会奉仕の精神をもって、犯罪をした者の改善および更生を助け、犯罪予防のために世論の啓発に努めたりして、保護観察の実行機関として活動している。そしてその職務身分が、役人的でない一般の人であることによつて、深く地域にこゝろをこめて活動しているのである。

少年の不良化や社会の浄化に挺身している。しかし世の中は、こうした役割の人だけでは決して明るくならない。ゆえに、地域の人たちの深い理解と協力で、明るい社会生活の基盤を守りつづけていくことこそ、「社会を明るくする運動」に、大きな効果をもたらすことになるのである。

封筒募金にご協力を……

ことしも法務省の主催で、封筒募金が行なわれることになった。これは補導施設や、あやまちを犯した人たちの更生に役だつ、たいせつな基金となるものである。みなさんの理解と、協力をお願いしてやまない。

(川西町保護司会)

◆町の掲示板◆

●県道中条新田―高柳線上の、上野、元町間で、いま四百二十メートルの改修工事が行なわれている。現在五メートルの道巾を六、五メートルに拡張するものだが、できるだけ交通制限をしないで、十月末までには完成させる予定。工事費三百万円のうち町で負担するのは二十一万円。あとは国庫の費用でまかなわれる。

◎町(商工係)では、次の日程で計量器の定期検査を行なう。

・八月一日(仙田小)・二日(中仙田小)・三日(橋小)・四日(上野小)・五、六日(町役場)

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

おこたわり

町の声、庁内めぐり、休みます。

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

# 読まれる 広報紙を

## 本紙によせるちまたの声

広報かわにしが生まれてから一年…。つねにたくさんの投書をいただけてきたことを、ありがたく感謝している。ここに代表的な御意見を伝え、ますます努力してゆくことを誓いたい。

### 広報かわにしを読んで

発行以来の広報かわにしを保存して、とにかく熱読している。小刷りではあっても、町が生まれてからのできごとを大なり小なり伝えてくれるからだ。自分の部落から町議が出ていない点もあって、議会人もよく教えてくれなかつたし、いままでも自分から聞こうともしなかつた。だが、広報かわにしこそわたくしたちのよき先生だ。

六月号の一億四千万円のゆくえは、まずなるほどどうなすかたは納税は住民の一大義務だと覚悟し、滞納はしまいと乏しい生活費から納めている金が、使ひみちさへわからず、納めてさえおけば、「町長さんがすきなように使つてくれるだろう」これが町民一般の考えかただったようだ。しかし、考へたかたに紙上によつてハッキリ明示されてこそ、尊い税金がどのように使われたかを知ることができ、納税の張り合いもつくのだとつくづく思った。

また、片内めぐりを続けてほしい。なぜかというに、わたくしどもは遠方であつたに役場へ行かな

いから、御役人様に面談することがない。したがって「何某は何役だ」だけではもたない。この欄でその人の個性や住所なども教えてもらうので、御役人様とわれわれとの間に明るさを感じるようになってきた。編集子もニクマレルことがあるかもしれないが、これだけはぜひ続けてほしい。

(仙田・K生)

### 広報を育てよう

合併後まだ年も浅いこの町で、広報かわにしのもつ役割はまことに

に大きいといえよう。町政と町民あるいは町民お互いの深いつながりが、こうした広報活動によつてより深められてゆくことはいうまでもない。町当局も広報の重要性をよく理解して、これを伸ばすことに十分留意していただきたい。率直にいて広報かわにしに望みたいことは幾つかある。編集という仕事の困難さを、多少でも味わつたことのある者にはよくわかることだが、血のにじむ思いで編集し、発行しても、良いとも悪いとも反応がないのでは、前進の足がかりを失つてしまふ。わたくしどもにできる協力というものはそれなのである。意見をどんどんよせることや、部落の記事などを出して内容を豊富なものにすることが何よりも大事なことである。朝く

### ある女教師の手紙

「夏はいいな」と思います。なせかという、男の子も色とりどりの服を着てくるからです。教室の中が、がぜん個性的に動きだしてくるようで、こつちものびのびとした気分になります。

黒い学童服は気づまりな着物で、ラクに体を動かせる仕立では考へかただったようだ。しかし、うしろしたかたに紙上によつてハッキリ明示されてこそ、尊い税金がどのように使われたかを知ることができ、納税の張り合いもつくのだとつくづく思った。

ばられた広報紙が、おヒルごろにはもう子供の菓子袋の代用をするようなことでは、まことに張り合ひのない話である。

また編集子に望むことは、みんなに待たれる広報紙、みんなに読まれる広報紙というのを、まず考へてもらいたいと思う。内容の充実と編集のうまさ、一致するにこしたことはないが、なかなか一朝一夕でできることではない。その意味からいって、「町の歴史資料から」の一連の記事や、ある女教師の手紙、アンテナ、ふるさとなどはおもしろく読まれた。また毎号の「町づくり」も、変わった素材を巧みにとりあげて読ませられる。編集子よガンバ、広報かわにしはみんなのものだ。

(原田・丸山一徳)

分も人もまつに扱う心情に通じるところとどりの夏服に囲まれて授業をしていると、しみじみ「夏はいいな」と思います。

雪国の冬の重苦しさも、楽しむことができないものでしょうか。「風土がそこに暮らす人びとの性格を形成する」というけれど、この自然主義的な人間観はすでに弱々しい説ですね。大自然に負けないで、自然を少しづつ変革しながら自分たちの生活や心を改善していく気ハクと知恵が、次々に育つていきますもの。子どもたちの可能性は無限だろうと思つて。

「わび、さび、無常感」といった古風な観念では、現代をよりよく生き抜く力がもてない。強烈な夏のひざしに花びらを光らす大輪

交通機関の発達で地球を狭くしたといつても、ジェット機で地球上を疾しと飛びまわることができるようでは、ほんの一部の人たちであつて、川西町に住んでいるわれわれにとつて、外国へ行くといふことは昔の人が江戸へ出た以上に容易なことではない。▲近くブラジル移住の壮途に上る金子園栄君の場合も、十八才という若さで地球の反対側へ永住しようとするまでに、容易ならぬ精神的試練を経たであらうし、同君を手放す御家族のそれはいっそう深刻であつたに違いない。その英断に深い敬意を表するとともに、今回の壮挙が丸山静男、丸山惣吉両氏の先例とあわせて青少年を鼓舞する意義を強調したい。▲ただ、同君を送るに当たつて心したいことは、悲壯感過剰の日本人意識や、過大な精神的負担を押しつけて本人を束縛しないことだ。金子君がブラジルへ行くといふことは、日本人であることをやめることではないとしても、決して日本人という固いカラをそのまま持ち込むためではないと思つて過去に日本人意識の偏狭さが、いまだに勝ち組、負け組という形でブラジルにも残っているというが、金子君はもろもろその一方に加担するために行くのではない。よき日本人であることが同時によきブラジル人であるような生き方により、お互いの人間性がシカに理解できる新しいモラルの開拓を前途に富む金子君に期待することは決して無理な注文ではないと確信する。

(花村ゆき)

### ふるさと

交通機関の発達で地球を狭くしたといつても、ジェット機で地球上を疾しと飛びまわることができるようでは、ほんの一部の人たちであつて、川西町に住んでいるわれわれにとつて、外国へ行くといふことは昔の人が江戸へ出た以上に容易なことではない。▲近くブラジル移住の壮途に上る金子園栄君の場合も、十八才という若さで地球の反対側へ永住しようとするまでに、容易ならぬ精神的試練を経たであらうし、同君を手放す御家族のそれはいっそう深刻であつたに違いない。その英断に深い敬意を表するとともに、今回の壮挙が丸山静男、丸山惣吉両氏の先例とあわせて青少年を鼓舞する意義を強調したい。▲ただ、同君を送るに当たつて心したいことは、悲壯感過剰の日本人意識や、過大な精神的負担を押しつけて本人を束縛しないことだ。金子君がブラジルへ行くといふことは、日本人であることをやめることではないとしても、決して日本人という固いカラをそのまま持ち込むためではないと思つて過去に日本人意識の偏狭さが、いまだに勝ち組、負け組という形でブラジルにも残っているというが、金子君はもろもろその一方に加担するために行くのではない。よき日本人であることが同時によきブラジル人であるような生き方により、お互いの人間性がシカに理解できる新しいモラルの開拓を前途に富む金子君に期待することは決して無理な注文ではないと確信する。

(M)

### かわけ

大倉 洋石  
草よりの風そよ風の蚊帳すしセルを着てそぐわぬ一日農休み

岩瀬 桂子  
螢火をすずめて草の深さかな

越ヶ沢 辰治  
大掃除鼠のひきし藤一つ

中仙田 竹治  
にぶき灯や桑の葉匂う蚕のさかり

学校町 正風  
牡丹に霧がふれいま雨となる

中仙田 遊人  
校庭のどよめきを背に田草取る

元町 鉄平  
植えおえし苗やわらかく吹かれけり

=====

◎千手の「貧しい老母」さん、仙田の「K生」さん、編集部あてに住所氏名をお知らせください。

◎仙田の小林さんほか六名の方から、「アンテナの復活を望む」という御意見がありました。こんな新しい企画で、ふたたび愛読していただくことを考えております。

◎もうすぐ十七夜、いよいよ夏がきました。暑さに負けないでください。食べもの飲みものに気を付けて、元気に過ごしてゆきましよう。夕涼みや訪問集会など、夜に親しむのもこれからです。

夏の夜はまだよみがらあけぬるを、雲のいつこに月宿るらむ

(深養父)